



平成15年3月3日に誕生した「かすがたぬき たーちゃん」は、令和5年3月3日、誕生20周年を迎えた。

これまで「たーちゃん」は、CMに出演し、食堂やビデオテープの名称に選ばれ、オリジナルグッズも作成・販売された。また、大学祭等の大学行事でも活躍してきた。

かすがたぬき たーちゃん

プロフィール紹介

箱さぬき
住所春日町960番地
本住かすがたぬき
本名称たーちゃん
年齢不詳
趣味学術研究、読書
好きな食べ物たぬきうどん、しょうゆ豆



「かすがたぬき たーちゃん」誕生20周年

また、手土産として、讃岐三白の砂糖から白下糖を使った瓦せんべい、和三盆糖を使った和三盆、塩を使ったえびせんべいを商品化。いずれも「たーちゃん」がデザインされた大学オリジナル商品で、実



オリジナリティは、文具から衣類、人形など幅広く作成され、一部商品

平成20年6月のオープンキャンパスからは玄関ホールでのお出迎えや各学部・学科の体験学習などにスタッフとして登場し、参加した高校生と名刺交換を行い、大学の認知度を高めた。

また、手土産として、讃岐三白の砂糖から白下糖を使った瓦せんべい、和三盆糖を使った和三盆、塩を使ったえびせんべいを商品化。いずれも「たーちゃん」がデザインされた大学オリジナル商品で、実



子どもと関わることを通じて、保育の現場での実践力を高めることを目的に活動している「たーちゃん絵本ひろば」では、おそろいの「たーちゃんTシャツ」を着用して、読み聞かせや手遊び等を行っている。

習先や来客等へ配布している。さらに、オリジナルカレンダーを作成し、高校訪問や地域連携活動で活用したり、公開講座の受講者等へ配布するなどしている。

大学行事では、大学祭の主要役となって登場し、大学祭実行委員が作成するポスターに掲載され、大学祭実行委員がその思いを込めて考えるテーマにもなった。

地域で絵本の読み聞かせボランティアを行っている発達科学部の読み聞かせ隊は、「たーちゃん」を主人公に紙芝居を作成し、ボランティア活動で使用している。紙芝居は、公式ホームページからも動画を視聴できる。

子どもと関わることを通じて、保育の現場での実践力を高めることを目的に活動している「たーちゃん絵本ひろば」では、おそろいの「たーちゃんTシャツ」を着用して、読み聞かせや手遊び等を行っている。

子どもと関わることを通じて、保育の現場での実践力を高めることを目的に活動している「たーちゃん絵本ひろば」では、おそろいの「たーちゃんTシャツ」を着用して、読み聞かせや手遊び等を行っている。

学位記授与式

これからもよろしくお願います。



「たーちゃん」は、誕生してから20年の間に活躍の場を広げ、学内外から認知されてきた。これからも学園のマスコミキャラクターとして、学生、教職員、地域社会から愛される存在でいたい。

令和4年度の大学・大学院・短期大学の学位記授与式が、3月23日、レクザムホール（香川県民ホール）で行われ、大学・大学院・短期大学268名が学び舎を巣立つ。

今年度も就職状況は好調で、香川県等の公立小学校・特別支援学校に大学発達科学部から現役・既卒を併せて11名が合格した。また、公立幼稚園・保育所にも大学発達科学部・短期大学保育学科から多数合格しており、大学経営学部、短期大学秘書科からの企業等への就職も併せ、4月から新たなスタートを切る。

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、私たちの生活様式や行動は大きく変わり、新型コロナウイルスと共に生きるという「ウィズコロナ」の新しい社会の中、本年の学位記授与式は、できる限り通常に近い形で開催する運びとなりました。

こうして、高松大学、高松大学大学院、高松短期大学の令和4年度学位記授与式を挙行できますことは、誠に慶びに堪えません。本学教職員を代表して厚く祝意と感謝の意を表します。

ただ今、大学151名、大学院1名、短期大学116名、計268名の皆様が、めでたく学位記を授与されました。それは、この歴史と自然に恵まれた田園都市高松に立地する本学に集い、学部・学科により期間の長短はありますが、それぞれに学問や研究に励まれ、初志を貫徹された証であります。ここに、これまでの皆様の努力に対して敬意を表し、心からおめでとうとお祝いの詞を述べたいと思います。ことに、県外や国外から遊学された皆様には、格別のご苦労があったのではないかと推察します。

さて、皆様の在学中は、新型コロナウイルスの世界的流行の中ではありませんが、北京冬季オリンピックで過去最多の18個のメダルを獲得、また、サッカーワールドカップでは、日本代表がFIFAランキングで上位のドイツ、スペインに勝利、中でもスペイン戦では「三笥の1ミリ」と称賛を浴びるなど、最後まで諦めないプレーが劇的な逆転勝利を呼び込むなど、大変面白い話題もありました。

また、コロナ禍における新しい生活スタイルに合わせて、在宅勤務やオンラインを使ったイベントなど、Society 5.0の振興が進む中、新たな価値創造が起ころ、時代は急速に変化しようとしています。それは我が国にとって、戦後の激動期に相当するほどの時代かもしれません。

そんな時代を生き抜く皆様に、高松藩の初代藩主として、高松の礎を築かれた松平頼重公をご紹介しますと思います。



高松大学長
高松短期大学長

令和4年度学位記授与式学長告辞

佃 昌道

年21歳のとき高松藩主となりました。頼重公は徳川家康の孫にあたるエリートで、性格は意志が強く闊達で、藩士及び町民を掌握し、偉大なる藩祖として高松藩300年の基礎を築かれ、いまでも多くの事業が継承されています。藩政においては、高松上水道の設置や相引川の復旧と新田の築造、干害を避けるため406もの新池を構築、陶器では紀太理兵衛による理兵衛焼きの製造、織物では北川伊兵衛による保多織の生産、円座の製造献上など農政、殖産、工芸の進展を図られました。また、法然寺を高松に建立、金毘羅大権現を幕府朱印地に指定、源平合戦の遺跡や栗林荘の整備にも尽力されました。

特に、高松上水道は正保元年に高松城下の東北部の用水を確保するために、大井戸、亀井戸などの水源7か所を選び出し、土管や木樋などで造った配管を地下約1.5mの深さに埋設し、そこから、武家屋敷や町屋などの井戸まで水を引くという、大掛かりで、今までに例のない工事でした。当時の様々な技術を駆使し、多くの人手と費用をかけて、日本初の上水道が完成したのです。

水の少ないこの地域の藩士及び町民にとって、安心して安全な飲み水が提供された事は、何よりの幸せであったに違いありません。そして、この上水道は、近代的な上水道の工事が行われる昭和の時代まで利用され続けてきたのです。

今日の記念すべき日に改めて高松の礎を築かれた頼重公の足跡に触れたのは、皆様に、物事を成し遂げるためにしっかりと信託とチャレンジ精神や自由な発想を持ち、社会で活躍していただきたいと考えたからです。

さて、卒業後、公務員・銀行・一般企業などに進まれる経営学部・秘書科の皆様、また、小学校・幼稚園・保育所・子ども関連施設・企業などに進まれる発達科学部・保育学科の皆様、それぞれ進む道は異なり、直面する課題も多様であると存じます。

しかし、皆様が本学で学んだ、対話を重んじ、理論と実践の接点を開拓するという精神を忘れず、進取の気概を持って、自らに属している職場や地域社会の中で人の絆を大切に、日々起こる小さなことを疎かにすることなく、自分の役割を果たし、愛され、信頼される存在となりますよう期待して、餞の告辞といたします。

学長表彰

本学では、学術・文化・スポーツなどで顕著な成果を挙げた学生を対象に「学長表彰」の授与を行っています。

クラブ・個人名	適 用	表 彰 日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第61回中四国学生ハンドボール選手権秋季リーグ戦 準優勝	令和4年10月27日
吉田 衣吹(保2)	[その他] 人命救助	令和4年10月27日
サッカー部	[スポーツ部門] 2022年度四国大学サッカーリーグ1部(兼 2022年度第71回全日本大学サッカー選手権大会代表決定戦) 優勝	令和4年12月16日
サッカー部	[スポーツ部門] 2022年度インディペンデンスリーグ四国(兼 2022年度第20回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル四国地区予選会) 準優勝	令和4年12月16日
サッカー部	[スポーツ部門] 四国大学サッカー新人戦(兼 第6回全日本大学サッカー新人戦四国地区予選会) 優勝	令和4年12月16日
ハンドボール部	[スポーツ部門] 第74回日本ハンドボール選手権大会四国ブロック予選 優勝	令和4年12月22日
河端 春花(秘2)	[学術部門] 秘書科優秀学生(資格取得・学業成績・人物等において秘書科推薦基準を満たす者)	令和5年2月21日
アブドラ ファキーハムダン ハリリ(経4)	[学術部門] 香川県留学生等国際交流連絡協議会主催「第19回外国人作文コンテスト」優秀賞(1位)	令和5年3月2日

発達科学部 子ども発達学科

就職活動を振り返って

発達科学部子ども発達学科4年



中井 綾香

卒業目前となり、4年間の日々の出来事が懐かしく感じます。私は入学当初から高松市の保育士をめざしていたので、日頃の授業を大切に... 面接に対する苦手意識が強く、自分自身の思いを言語化する難しさに葛藤しながらも、対策講座に参加し続ける中で自信を得ることができました。私立保育所への就職が決まっていく学生を横目に焦りもありましたが、同じ目標を持つ友達や温かく見守り指導して下さる先生方の支えもあり、最後までやり遂げることができました。これまでの経験をバネに保育者として成長し続けていきたいです。

大学祭を振り返って

発達科学部子ども発達学科3年

都丸 香織

今年度の大学祭における「げんき村15丁目わんぱく通り」は、



コロナの影響でお祭りを楽しめなかった子どもたちに楽しんでもらうために、「縁日」をテーマにしました。大学祭自体が3年ぶりということもあり、何も分らない中で作業でしたが、コロナ禍でもできることを皆で模索し、試行錯誤しながら準備を進めました。当日は多くの方が来場し、楽しんでいただけました。両日来てくださる方もいて、とても嬉しかったです。予期せぬ状況は多々ありましたが、その中でも臨機応変に対応する力を身に付けることができたと思います。また、全体を通して、計画を立て、協力して何かを成し遂げる達成感も得られました。今年度得た経験を活かし、より楽しめるものをげんき村から提供していきたいです。

高松大学

経営学部 経営学科

就職活動を通しての学び

経営学部経営学科4年



劉谷 悠

私が就職活動を通して大事だと思ったことは2つあります。1つ目は、自己分析です。面接では自分のことを必ず聞かれるので、自己理解は大切なのですが、企業選択や志望理由を考える時にも、自分を理解していることがとても大切だと感じました。自己分析を行い、自己理解を深めることは中々難しい作業だと思います。そんなときは、キャリア支援課やゼミナールの先生に相談しましょう。2つ目は、早めの行動です。「自分が何をしたいのかわからないから何も行動しない」のは、一番よくないパターンです。とりあえず一歩を踏み出すのが大切です。面倒かもしれませんが、説明会に積極的に参加するなど出来るだけ早めに就職活動の一歩を踏み出しましょう。就職活動が近づくにつれて不安になるとありますが、今までの自分を信じましょう。自信をもって、後悔のない就職活動をしてください。

「たかまつ政策アイデアコンテスト2022」での発表

経営学部経営学科4年



大倉 凜平

高松市役所の政策コンテストに2人で参加しました。私達は、「第2期たかまつ創生総合戦略」という資料を読み、塩江に目を付けました。高松市の南側に観光地として有名なところが少ないと感じたからです。始めたころは、高松市の活性化ができるアイデアを考へること、伝えたいことをパソコンで自分達らしく表現することに苦戦しました。そして、高松空港を利用する人や若者、子育て世代に向けて、特に夜のライトアップの強化を行うことで塩江の活性化に繋がると結論付けました。本番前の発表練習に最も苦労しましたが、ゼミの仲間のアドバイスで力を得ました。何より、市長やいろいろな立場の人の前で、プレゼンテーションをしたことは、今後の私達にとっても良い経験となりました。

探訪/研究室

発達科学部 藤本 駿

自己紹介



教育学、特に教育行政が専門です。日本とアメリカの教師教育制度に関心があります。休みの日は、娘と野良猫を探す旅に出ています。

ゼミナールの特徴

ゼミ生の関心に基づいてテーマを設定し、文献を収集・要約していきます。ゼミ生は定期的にレジュメを発表します。たまに脱線しながら、熱い議論を交わしています。

ゼミ生へ一言

レジュメ発表以外の取り組みは、ゼミ生の発案に任せています。充実したゼミになるように、自主的・意欲的に取り組むことを期待します。

二十歳の時の自分

中学か高校の社会科教師になりたいと思い、一浪して教育学部に入りました。休みの日は、一人で野良猫を探す旅に出ています。

保育学科

2年間の学びを振り返って

保育学科2年 渡辺 絵理奈



2年間の短大生活は、毎日が大変でしたが、かけがえない時間を過ごすことができました。

授業や実習で子どもたちと関わる中で、保育についての知識、保育者としての生き方を学ばせていただきました。先生方の熱心なご指導には心から感謝しております。

また、実習や就職活動では、くじけそうになることが何度もありましたが、一緒に頑張っている仲間や、応援し支えてくれる家族がいたからこそ乗り越えられました。



これは、一人ひとりが自分の夢に向かってそれぞれの道に進みます。多くの人に会い、たくさんの方々の経験ができた短大生活は、私にとって宝物です。この2年間で学んだことを忘れずに、立派な保育者になれるよう努力し続けます。

「冬の親子ワークショップ」を開催して

保育学科2年 吉田 千紗



私たち美術研究室の2年生は、昨年12月11日、坂南市教育委員会主催で「冬の親子ワークショップ」を開催しました。

これは、子どもたちだけでなく、親子で一緒に作り上げていくというイベントです。未就学児と保護者10組を対象に色画用紙等を使ってクリスマスマツリーやリースの製作を行いました。

最初は、受け身だった子どもたちも製作が進むにつれ、「これがしたい!」と積極的な気持ちで芽生えていきました。保護者の方々の前で話すのは少し緊張しましたが、皆さんが「楽しかった!」「ありがとう!」と完成した作品を大事に持って帰って下さり、大変嬉しかったです。ものづくりのおもしろさや楽しさを私たちが自身も味わえたワークショップでした。



秘書科

大学生活の一番の思い出

秘書科2年 山本 萌愛



大学生活を振り返って一番の思い出は学外セミナーです。1年生のときは中止となったため、2年生で参加することができ、とても嬉しかったです。

学外セミナーでは、JRHホテルクレメント高松でテーブルマナーを学びました。初めて食べるコース料理を楽しみながら、マナーも一緒に学ぶことができました。実践経験になりました。

高松短期大学

また、瀬戸内国際芸術祭が開催された年であったため、沙弥島の美しさと芸術を楽しむことができました。

四国水族館では、ぬいぐるみ担当のくじ引きをして、友達とそろいのぬいぐるみを買って帰りました。



美味しいお料理をいただき、友達とたくさん写真を撮り、良い思い出となっています。この行事によって、友達との仲も深まりました。

卒業研究発表会の代表者に選ばれて

秘書科2年 吉武 玲奈



私の卒業研究は、「仕事の効率が良い方法」をテーマとした。

卒業後は企業に就職するため、就業時間内に終わるよう効率化について学びを深めたいと思ったことが研究動機です。効率よく行う方法はたくさんあるため、実践して自分に合った方法で行うことがいちばんの近道だと思えます。

この卒業研究で私は、グローバルビジネスコースの代表として代表者卒業研究発表会で発表しました。聞き手に伝わるように構成を考え、自分が伝えたい内容を上手にまとめることを意識しました。私は人前で話すことが苦手ですが、とても緊張しましたが、代表に選ばれて発表できたことを光栄に思います。



自分に自信をもち、立派な社会人になれるように日々努力していきます。

探訪/研究室

保育学科 森本 将行

自己紹介



本学で2年目を迎えました。それまでは保育現場で約15年間勤めていました。その経験を活かし、保育の楽しさを少しでも皆さんにお伝えできればと思います。

研究室の特徴

児童文化部として大学祭などで人形劇を公演しています。その準備に取り組み中で学生同士がそれぞれの多様性を受容し、他者と協働する能力が身につくことをめざしています。

研究室の学生へ一言

保育技術を身に付けること、保育の知識を学ぶこと、どちらも大切です。でも、それと同じぐらい人間性磨きが大切なことを保育現場で実感しました。共に高めていきましょう。

二十歳の時の自分

周りのみんなは保育現場に就職。自分だけが進学し、初めて地元を離れて生活を始めました。あの時は精一杯背伸びしながら生きていたなと思います。

高松大学サッカー部が躍進

高松大学サッカー部は、「2022年度四国大学サッカーリーグ」で優勝し、「第71回全日本大学選手権大会」に出場。1回戦で北信越第2代表の北陸大学と対戦し、3対2で勝利した。2回戦では関東第2代表の東京国際大学と対戦し、0対3で惜敗した。続いて、「四国大学サッカー新人戦（兼全日本大学サッカー新人戦四国地区予選会）」で優勝し、「2022年度第6回全日本大学サッカー新人戦」に出場。12月19日に札幌大学、12月20日に関西大学、12月21日に明治大学と対戦した。



全日本大学選手権大会では高松大学サッカー部としては創部初の1回戦突破を果たした。全日本大学サッカー新人戦でも明治大学に勝利するなど近年、

高松大学サッカー部は躍進を遂げている。来年度は今年度以上の結果を残したい。



高松大学ハンドボール部「第74回日本ハンドボール選手権大会」に出場



高松大学ハンドボール部は、昨年12月7日から山口県周南市にて開催された第74回日本ハンドボール選手権大会に挑んだ。初戦の相手は、日本リーグに所属するアースフレンズB



Mであった。持ち味とする粘り強い攻守を發揮でき、前半を5点ビハインドで折り返したが、後半になり相

手の勢いに押されて足が止まり、最終結果24対43での敗戦となった。3年連続で日本リーグのチームと対戦してきたが、なかなかその壁を超えることができない。

来シーズンこそ、全日本インカレでの上位入賞を目指すことはもちろん、日本ハンドボール選手権大会においても日本リーグチームの撃破を目標に、日々の練習に全力で取り組んでいきたい。

インドネシアの高校生とオンラインで国際交流

12月19日、短期大学の卒業生が日本語教師のパートナーとして授業のアシスタントや日本文化の紹介を行っているインドネシアのレンバン第1国立高等学校と本学の「たちちゃんえほんひろば」の学生がオンラインで交流した。双方の自己紹介、プレゼンテーション、質問タイムがあり、最後に記念撮影をした。



方自己紹介、プレゼンテーション、質問タイムがあり、最後に記念撮影をした。

認定こども園高松東幼稚園ニュース

お抹茶の味は大人の味?!

園の伝統の一つとして行っている「マナー教室」。コロナ禍でここ数年はお作法を身につけるのみの時間となっていました。今年度はお運び役・お客様役に分かれてお茶を頂けるようになりました。初めて頂くお抹茶にワクワクドキドキ。一口飲んでみると・・・「美味しい!」と思う子もいれば「苦い」と感じた子もいたようで表情は様々。点てた人への感謝の気持ちからその場では耐えていた子どもたち。部屋に戻ると「美味しかった」「苦かった」「大人の味がした」と話が盛り上がりました。二回目には、茶筌を持ってお茶を点てる経験もしましたよ。先生の姿を真似して茶筌を前後にリズムよく動かしますが、なかなか同じように泡立ちません。美味しく飲んでもらいたいと友達のことを思う気持ちはもっていました。集大成として、最後の参観日には保護者の方にお茶を振舞う予定です。日常ではなかなか味わえない経験ができる特別な時間としてこれからも続けていきたいと思えます。



クラブ・サークル活動紹介

男子バレーボール部

経営学部経営学科2年

三好 鉄平

クラブ・サークルの活動内容

私たちが男子バレーボール部は、富士先生のご指導のもと、四国大学春季・秋季リーグなどの試合で勝てるように練習しています。部員が少なく、できる練習が限られています。が、試行錯誤しながら楽しく

バレーボールをしています。練習は、毎週火曜日の16時30分から土曜日の9時からの週2回です。

クラブ・サークルの特徴

入学前にバレーボールを全くやってこなかった人でも楽しめるような部活になっています。部員の中には初心者や高校からバレーボールを始めた人もいますが、練習を熱心にすればどんどん上達していきます。そして、バレーボールは、一人ではできない競技

キラリ☆輝く人 高松市政策コンテストで大賞を受賞



発達科学部 子ども発達学科4年 土居 純大さん

もっと素敵で、もっと魅力的な高松市にしていくためのアイデアを高松市が募集した「たかまつ政策アイデアコンテスト2022」で、子育て支援についてのアイデアを発表し、大賞を受賞したチーム「たーちゃんず」のリーダーを務めた。

「今回の政策アイデアコンテストに参加させていただき、高松市の子育て支援や子育て家庭の現状について深く知ることができ、貴重な経験となりました。特に、保護者の方が子育ての何に不安や悩みを感じているのかを具体的に知ることができ、とても勉強になりました。私を含め、「たーちゃんず」のメンバーは、4月から保育施設に就職するため、今回の活動で得た知識や経験を現場で活かせるよう努めていきたいです。」と土居さん。

来春からは社会人。本学での学びやコンテストへの参加経験を糧に、思い描く子育て支援に向けて取り組んでいってほしい。



くするよう心がけて活動しています。

防災意識を高める 防災訓練・防災体験

11月2日、香川県シェイクアウト「県民いっせいで地震防災行動訓練」にあわせ防災訓練を実施した。コロナ禍で中断していたが、3年ぶりに学生と教職員がそれぞれの場所で一斉に身を守る安全行動を1分間とり、一部



春日地区自主防災会主催のもと、高松東消防署、春日日赤

だからこそ、部員同士が仲良く、部全体の雰囲気を良

奉仕団、高松大学機能別分団に所属する学生2人と防災体験（激流・豪雨の体験、段ボールベッドの作製）を実施。多くの親子連れが参加し、学校が休校になるほどの降水量で浸水した状況を再現して歩き、段ボールベッドの組み立てや解体をするなど、貴重な体験となった。

学生への食料等のご支援について（御礼）

「生活協同組合コープ自然派しこく」様によるコロナ禍での貧困解消を目的とする「子ども笑顔基金プロジェクト」の一環として、高松大学・高松短期大学の在学生にお米のご寄付をいただきました。



1月16日の贈呈式では、学生1名が本学を代表して、コープ自然派しこく理事長の泉川香様からお米を受け取りました。閉式後に、出席している他の19名の学生もお米を受け取り、和気あいあいとした雰囲気の中で記念写真撮影を行いました。この度、お米のご寄付をくださったしこく自然派しこくの皆さまに、心より感謝

申し上げます。ありがとうございました。



編集後記

☆「学園だより」を担当して5年になります。頭のかたい私にとって柔軟な発想が求められる広報誌の作成は苦勞しますが、ここまで続けてこられたのは、この仕事が好きだからです。卒業する学生のみならず、大変だと感じる仕事を担当することになっても、まずは一生懸命取り組んでみてください。好きになれば、その仕事はきつと楽しくなるはず。みなさんの活躍を応援しています。

(N)